



西中学校保健委員会劇 “THANK YOU”

“THANK YOU”

3月16日、東久留米市立西中学校において、毎年恒例の西中保健委員会による劇が開催されました。

“THANK YOU”は、西中保健委員会による劇シリーズの3作目ということです。

東久留米市健康づくり推進部会による『禁煙キャラバンわくわく』の皆さんも出演した保健劇を取材してきました。

～あらすじ～

主人公は毎日ゲームに溺れタバコを吸う男子中学生。

現実から目を背け、ゲームやタバコに逃避する自分の弱さと、この現状をどうにかしなくてはいけないという気持ちの中で揺れ動きながらも、自分の中には強い心も弱い心もあるということに認め、物事から逃げようとする弱い心に打ち勝とうと努力を始めます。



～劇のはじまりはじまり～

うれしはずかしのフォークダンス。もうすぐ好きな子と踊る番に!!! 今も昔も変わらない、だれにでもある甘酸っぱい思い出ですね(^-^)



～主人公の自宅～

いつも部屋にこもって何をしているかわからない主人公。両親が息子の心配をしています。母親役の保健の先生、上手すぎです。



～教室で～

勉強や男女交際、タバコの害について先生が子どもたちに問いかけをしています。大人ではないのは分かってる、でも子どもといわれるのは嫌。中学生は本人たちも大変です。



～劇中劇タバコの害～

『禁煙キャラバンわくわく』の皆さんが熱演。

H17年につくられた「わくわく健康プラン東くるめ」時のアンケートから「タバコを吸う人」男子52.8%、女子17.2%をH27年には、男子45%、女子15%まで減らそうと一生懸命です。

ひばり児童館(6/11) 中央児童館(6/18)とキャラバンは続きます。



～受動喫煙とは～

受動喫煙(じゅどうきつえん)とは、喫煙者の周囲の人が、自分の意思とは無関係に環境たばこ煙に曝露され、それを吸入することである。ときに「間接喫煙」「不随意喫煙」「不本意喫煙」ということもある。対義語は能動喫煙(のうどうきつえん)。(Wikipediaより抜粋)

それにしても「煙さん」怖いですね～。



～公園にて～

タバコの害についての劇中劇が終わり、主人公たちが公園でタバコを吸っているところに、主人公を好きな女子達が登場します。

主人公の気をひこうとタバコを口にしますが、主人公に止められます。吸っている主人公もタバコは悪いこととは知りつつ吸っているということなんですね…。



～「魔導師」登場～

主人公の心に巣くう悪の心を現した「魔導師」熱演でした! ♪^o(^-^-)o☆o(^-^-)o♪チ



～「正導師」登場～

正義の心を現した「正導師」。主人公を勇気づけます。



「魔導師」「正導師」も自分の中にある。だけど「正導師」の力を強くするのも弱くするのも自分自身なんだと気づく主人公。

がんばれ中学生!!!

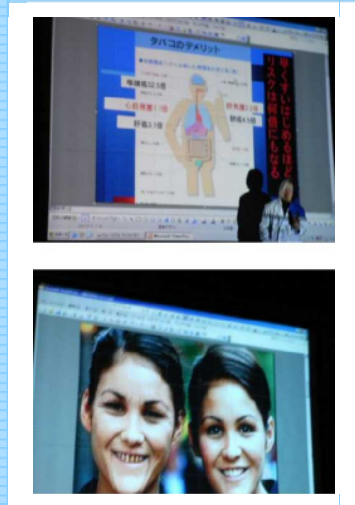
子どもたちが一生懸命演技していて、ほほえましく拝見しました。今回劇を拝見して思ったのは、子どもたちに伝えたい事が沢山あるのは分かりますが、男女交際や勉強、タバコの害の話と一つの劇の中に盛り込みすぎて印象を受けました。できればひとつひとつの話をもっと掘り下げたほうが良いのではないかと思います。

それでも脚本を書き、恥ずかしい盛りの中学生への演技指導は先生も大変だったと思います。

「禁煙キャラバン」の方々もお疲れ様でした。

子どもたちのために様々な活動して下さる大人が沢山居ることを、子どもたちも分かってくれると良いなと思います。

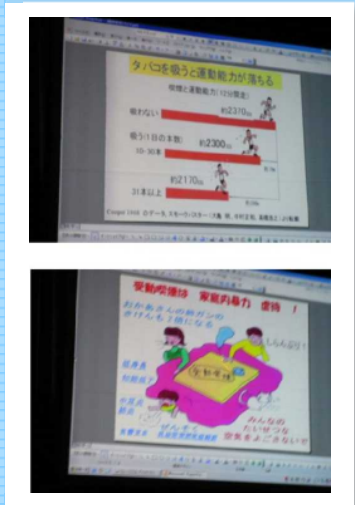
市民記者 スウミ♪でした。



『禁煙キャラバンわくわく』によるタバコの害についてのレクチャーです。健康づくり推進員の方々勉強会を開き、その内容を踏まえて、伝える内容を検討し劇にしているそうです。

下の写真は、双子で喫煙を続けた人と喫煙しなかった人を比べたものです。

若々しいほうが非喫煙者とのこと。しわや肌の張りや顔つきがこんなに変わってしまうなんて怖い。



喫煙は心肺機能を低下させます。それによって運動能力も低下するという実験結果もあるそうです。

受動喫煙による副流煙は、主流煙よりも多くの有害物質が含まれているんです。

親や大人は子どもたちを健やかに育てる責任があることを自覚し、妊婦さんやお子さんのいるご家庭ではタバコの害についてなおさら気をつけないといけませんよね。